

**NEWS RELEASE**

平成 20 年 11 月 12 日

株 式 会 社 電 通  
代表取締役社長 高嶋達佳  
(東証第 1 部 コード番号 : 4324)**平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算のお知らせ****ー連結売上高 9,486 億円、営業利益 177 億円、経常利益 221 億円、四半期純利益 81 億円ー**

株式会社電通（本社：東京、社長：高嶋達佳、資本金：589 億 6,710 万円）は、平成 20 年 11 月 12 日、東京・汐留の電通本社ビルで取締役会を開き、平成 21 年 3 月期第 2 四半期（平成 20 年 4 月～平成 20 年 9 月）の連結決算を確定した。

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、ガソリン価格の高騰や食料品・日用品の価格上昇の拡がり等により、個人消費が伸び悩むなか、原材料価格の上昇や米国における経済の混乱の影響が相俟って企業収益も弱含みとなるなど、景気の先行きに対する不透明感が一段と強まった。広告業界においても、広告主各社の広告支出への慎重な姿勢が続くなど、厳しい経営環境となった。

このような環境の下、当社グループは、「第29回夏季オリンピック競技大会(2008/北京)」などを足がかりに多面的にビジネス展開するとともに、クロスメディアを核とした統合的なソリューションを提供すべく、グループの総力を結集し積極的な営業活動を展開したが、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,486億21百万円（前年同期比 4.9%減）、売上総利益1,564億64百万円（同 5.7%減）、営業利益177億95百万円（同 24.1%減）となった。また、主な持分法適用会社であるピューブリシスグループに対する持分法投資利益26億89百万円などにより、経常利益221億17百万円（同 26.7%減）、四半期純利益81億11百万円（同 43.8%減）となった。

（社）日本経済研究センターによると、平成 20 年度の総広告費は前年度比 4.1%減少し、マス四媒体の広告費も減少すると予測されている（平成 20 年 9 月時点）。こうした環境の中、下期には「2008FIA F1 世界選手権フジテレビジョン日本グランプリ」、「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2008」、「2009 ワールド・ベースボール・クラシック」等のイベントがあるものの、広告市場の先行きは引き続き厳しいと予想される。

こうした中、通期の連結業績見通しは、売上高 1 兆 9,460 億円（前期比 5.4%減）、営業利益 453 億円（同 19.3%減）、経常利益 549 億円（同 19.3%減）、当期純利益 252 億円（同 30.5%減）を予想している。

なお、連結業績見通しに関して、持分法適用会社であるピューブリシスグループの損益に対する当社持分の取り込みについては、ピューブリシスグループが業績予想を開示していないため、下期の持分法投資利益は、ピューブリシスグループの前年同期実績に基づき42億92百万円(のれん償却22億62百万円控除後)としている。なお、為替レートについては他の関係会社同様、平成20年1月から10月の平均為替レート1ユーロ=約158.4円を用いている。

以上

**(注) 将来の事象に係る記述に関する注意**

本業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断をしたものであり、潜在的なリスクや不確定要素等の要因が内在している。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がある。

## 平成21年3月期 第2四半期連結業績

自 平成20年4月 1日  
至 平成20年9月30日

株式会社 電 通

・当第2四半期の業績（記載金額は百万円未満を切り捨て表示）

### （1）四半期連結貸借対照表要旨

（単位：百万円、％）

科 目		当第2四半期末 (平成20年9月期)	前 期 末 (平成20年3月期)	増減率 (△は減)
資産の部	流動資産	563,367	641,002	△ 12.1
	固定資産	591,281	610,909	△ 3.2
	資産合計	1,154,648	1,251,912	△ 7.8
負債の部	流動負債	459,324	527,504	△ 12.9
	固定負債	170,701	133,547	27.8
	負債合計	630,025	661,051	△ 4.7
純資産の部	株主資本	516,199	574,243	△ 10.1
	評価・換算差額等	△ 14,456	△ 6,950	108.0
	新株予約権	0	0	—
	少数株主持分	22,879	23,567	△ 2.9
	純資産合計	524,623	590,861	△ 11.2
負債純資産合計		1,154,648	1,251,912	△ 7.8

### （2）第2四半期連結損益計算書要旨

（単位：百万円、％）

科 目	当第2四半期 (平成20年4月～9月)	前第2四半期 (平成19年4月～9月)	増減率 (△は減)
売上高	948,621	997,360	△ 4.9
売上総利益	156,464	165,875	△ 5.7
営業利益	17,795	23,437	△ 24.1
営業外収益	6,187	8,247	△ 25.0
営業外費用	1,865	1,508	23.7
経常利益	22,117	30,176	△ 26.7
特別利益	1,269	8,641	△ 85.3
特別損失	7,683	12,469	△ 38.4
税金等調整前四半期純利益	15,703	26,348	△ 40.4
四半期純利益	8,111	14,444	△ 43.8